

# 教職大学院 NEWS


三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

創刊号 H29.4月発行



## 三重大学教職大学院がスタートしました!

平成29年4月、三重大学に大学院教育学研究科教職実践高度化専攻（教職大学院）が開設されました。本年度は、三重県教育委員会から派遣の現職教員10名、学部卒業者5名の計15名の大学院生を迎えることができました。ここに、三重大学教職大学院の、記念すべき1年目がスタートしました。

これから、院生15名が大学教員や同期入学生たちとの協働的な探究に取り組みながら、豊かな学びを展開していけるよう、教員スタッフ一丸となってサポートしていくつもりです。 

### 三重大学教職大学院の開設にあたり ～ 教職実践高度化専攻 議長 森脇 健夫

いよいよ待ちに待った2017年4月になりました。三重大学に教職大学院が開設され15名の新入学生を迎えることになりました。これまでの準備の過程がそれぞれの時期の苦労とともに走馬灯のように思い出されます。小さな大学院ですが、夢は大きいです。たったの15名かもしれませんが、15人の皆さんがここで得た知識や経験を地域や学校現場で活かし学校をよくする。そしてその影響のもとで多くの教師や子どもが育っていく、と考えると15名の力はその何倍もの力になり、大きく三重県の学校現場を変えていく力になると思います。私たち教職大学院のスタッフは、皆さんが学ぶお手伝いをしたいと思います。学びの場を整え、道案内をし、そして見守ることが私たちの仕事です。皆さんは、自分の学修テーマを多角的、多面的に探究を進めていただきたいと思います。いったん現場を離れた教職大学院なら

ではの探究があります。自らの問題意識の意味を問うところから探究を始めていていただきたいと思います。また、個々の学修テーマの探究だけではなく、他の14名の探究からも学んでいただきたいし、誤解を恐れずにいえば他の人の探究に口出しし、その学修テーマを「ものにしてほしい」と思っています。現代の学校は、さまざまな課題を抱えています。教育課程の区切りもあり、新しい波も押し寄せてきています。既存の経験だけでは対処できない課題もあります。しかしながらこの教職大学院での「異質な者どうし」の協働的な探究の経験とノウハウはきっと現代の課題探究に役に立つと確信しています。



# 知的好奇心にあふれ、明確な目標をもった、 三重大学教職大学院一期生です！

## 【院生紹介】

### 学校経営力開発コース

角谷 道生 (県立いなべ総合学園高等学校)	勘と経験だけに頼らない専門職として根拠に基づいた実践がしたくて志願しました。教職大学院では、生徒の特性（認知特性）をベースにした授業実践を研究したいと思っています。
小宮 康子 (津市立朝陽中学校)	今まで取り組んできた、学び合う授業づくりを基盤とした学校づくりについて、実践校の取組みから更に学びたいと思っています。子どもたちが主体的に学ぶ様子に触れたいと思います。
杉野 拓也 (津市立東観中学校)	この教職大学院で授業力の向上や学ばせる力を身に付け、その裏付けになる実践を行っていきたいです。また、発信していく力を付けて現場に戻りたいと考えています。
世古 浩一 (伊勢市立修道小学校)	これまでとは、違う環境の中で4月が始まりました。これまで数日ですが、1日1日が充実しています。2年間、新たな出会い、様々な学びの中で、自分の力を高めていきたいと思っています。
野呂 貢一 (松阪市立東部中学校)	ご縁により14名のみなさんと共に学びあえることに喜びを感じつつ、2年間という与えられた時間を有効に使って、できる限り多くの教育現場を見て回りたいと思います。
福永 名津 (県立上野高等学校)	テーマは「教育相談の充実」でしっかり学びたいです。他の院生の方との交流、先生方のご指導からたくさんのごことを得たいと思っています。よろしくお願いいたします。
古川 真由美 (県立石薬師高等学校)	国籍や家庭環境などの問題を抱える生徒、特別な支援の必要な生徒との関わりから、現在の高等学校に求められる進路支援について学びたいと思い、教職大学院を受験しました。
牧野 江津子 (三重郡朝日町立朝日小学校)	教職大学院で、大学の先生方や同期の皆さんと共に、自身の研修テーマについて研究できることはとてもありがたいことであり、楽しみです。2年間新たな気持ちで頑張ります。
水谷 佳満 (桑名市立陽和中学校)	小学校でのプログラミング教育から高校情報までの流れを、中学校技術科としてふまえ、小中高を見通したプログラミング教育について研究していきたくと思っています。
峯下 隆志 (県立石薬師高等学校)	ID（インストラクショナルデザイン）を基礎とした授業デザインを研究します。また、学習方略や動機づけの観点からリフレクション（省察）の重要性も併せて研究していきます。

### 教育実践力開発コース

浦口 真凜 (小学校志望)	三重県の地域教育について学びたく、この教職大学院を志望しました。これから、たくさんの知識を吸収し地域教育について考えを深め、それを横にも広げることができるよう勉強していきたくしています。
二宮 眞帆 (中学校英語科志望)	大学での学びを実践的指導力へと結び付けたいという思いで教職大学院に進学しました。2年間で新たな視点や価値観を貪欲に身に付け、三重県の英語教育に貢献します。
西田 郁美 (中学校理科志望)	教職大学院では、授業づくりについて学修したいです。学んでいくにあたり、実際に学校現場に入って、様々なクラスの現状を見たいです。
吉川 和希 (中学校英語科志望)	教職大学院では、三重県の教育における現状、課題などについて学修し、知識を深め、実践を行なっていきたくと思っています。将来は学んだことを活かし、三重県の教育に貢献していきたくしています。
吉村 友希 (高等学校英語科志望)	大好きな故郷三重県で教職について学べるのが本当に嬉しいです。先生方や子どもたち、同期の皆さんから多くのことを教わりながら、夢の実現に向けて努力したいと思っています。

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

☎ 059-231-9319（学務担当）

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>（教職大学院専用 HP）

✉ [info-mkd@edu.mie-u.ac.jp](mailto:info-mkd@edu.mie-u.ac.jp)